

福島県檜葉町

檜葉町復興拠点「笑ふるタウンならは」内に公設商業施設・交流館がオープン

平成27年9月、福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示が檜葉町内で解除され、4年以上に渡って止まっていた檜葉町の時計の針が、再び動き始めました。

檜葉町では避難指示の解除後、町民や町内事業者の暮らしの再生と新たな居住の促進を目的に、医療・福祉・商業・交流施設が集積した新しい生活拠点として、コンパクトタウン「笑ふるタウンならは」の整備を進めてきました。

「笑ふるタウンならは」内では今年に至るまで、災害公営住宅・分譲住宅・医療施設などが整備されてきましたが、今年6・7月には、これらに加え、公設商業施設『**ここなら笑店街**』と、交流施設『**みんなの交流館 ならはCANvas**』が、新たにオープンの日を迎えました。

公設商業施設『**ここなら笑店街**』

『**ここなら笑店街**』は、今年6月26日にオープンした公設商業施設で、地元スーパーのネモトが入居するスーパー棟、コメリが入居するホームセンター棟、ベーカリー・飲食店・理容店・クリーニング店など7店舗が入居する共同店舗棟、独立したコインランドリーの、合計3棟10店舗で構成されており、町民の生活を支える拠点として新たな賑わいを見せています。

『**ここなら笑店街**』という名称は公募により選ばれたもので、「笑顔あふれる商店街、みんなが笑顔になれる笑ふる商店街」、そんな商業

施設になってほしいという願いと、避難指示の解除以降町を支えてきた『**仮設店舗 ここなら商店街**』の形を継承した上で、次のステップへ進んでいく、そうした想いが込められています。

核テナントであるスーパーのネモトは、震災前には町内で2店舗を営んでおり、震災後も『**仮設店舗 ここなら商店街**』に出店していた、地元密着型のスーパーです。また、共同店舗棟の入居テナントも、そのほとんどがもともと町内で営業していた地元企業が占めます。檜葉町新産業創造室芦口純一係長は、「『**ここなら笑店街**』の入居テナントは、チェーンではなく、もともと檜葉町内で営業していた地元企業を中心。その点が『**ここなら笑店街**』の強みです」と語ります。

交流施設

『**みんなの交流館 ならはCANvas**』

『**みんなの交流館 ならはCANvas**』は、今年7月30日にオープンした交流施設で、檜葉町のコミュニティの中核、復興の象徴となる場所として整備が進められてきました。

この交流施設の最大のコンセプトは、事業の構想段階から町民を中心に意見・要望を、全9回のワークショップを通して捨てるだけ捨てるだけ、そこで出た約200人分の意見・要望を施設内の随所で反映していくといった、「住民参加型の施設設計」を進めた点です。

『**ならはCANvas**』という名称も、「これまで、そしてこれからも町民が主体的にこの施設に関わり、創っていく=真っ白なキャンバスに描いていくような施設であってほしい」という想いから名付けられました。大文字の「CAN」には「できる」の意味を込め、「施設の可能性や使う人の[can=できる]を叶える場所にしたい」との想いも込められています。

こうして完成した『**ならはCANvas**』内には、ふらっと立ち寄れる「みんなのリビング」や、楽器の練習や演奏ができる「バンドルーム」と「サウンドルーム」、勉強や仕事ができる「ワークスペース」、ステージにもなる「縁側デッキ」など、9回のワークショップで出た町民の生の声が反映された、多種多様なスペースや設備が導入されています。

当施設の指定管理を受けている一般社団法人ならはみらい事務局平山将士さんは、「『**ここに来れば何でもできる**』というように、気軽にふと立ち寄りてもらい、そして滞在してもらいたい。それが、この交流館の一番のコンセプトです」と語ります。

新たな公設商業施設と交流拠点が立て続けにオープンの日を迎え、コンパクトタウン「笑ふるタウンならは」は、檜葉町の新しい生活拠点として、より一層の賑わいが期待されます。(岡本)



『**ここなら笑店街**』の共同店舗棟。入居テナントの大部分が地元企業だ



『**ならはCANvas**』。国道からも常磐線からも、とにかく目を引く



「笑顔あふれる、笑顔になれる商店街」の願いから、『**ここなら笑店街**』とした



檜葉町新産業創造室
芦口純一係長



一般社団法人ならはみらい事務局
平山将士さん



いつでも立ち寄れる「みんなのリビング」

観光物産キャラクター「つん」が活躍

今年、明治維新150周年の記念すべき年であるとともに、NHKの大河ドラマ「西郷どん」が放送されるとあって、鹿児島県全体が盛り上がりを見せています。

西郷隆盛は、狩りと温泉を好み、各地を訪れてその足跡を残したとされ、薩摩川内市にもゆかりの地や品物、逸話が数多く残されています。西郷さんは大の犬好きだったと伝えられていますが、東京上野公園にある西郷さんの銅像が引いている犬のモデルが同市東郷町出身の薩摩犬「つん」です。「つん」は、飼い犬の中でも獵犬として非常に優秀だったと伝えられていて、西郷さんが東郷町の藤川天神をお参りした際に、一目ぼれして飼い主から譲り受けたそうです。

そんな「つん」は市公認の薩摩川内観光物産キャラクターとして大活躍しています！ デザインは全国各地から寄せられたのですが、その募集方法が何ともユニーク。『せごどんがつんを探しています』と題して、全国各地から「つん」の目撃情報をイラストで募集したのです。飼い主である西郷さんから2度も故郷に逃げ帰ったことがあるという逸話から、西郷さんを中心に薩摩や江戸の町で必死に捜索（募集）しました。その結果、西郷さんのためになんと約300件の目撃情報（イラスト作品）が集まります。その中から1次審査を通過した24件の目撃情報について、WEB上での投票を行い、無事に発見。つまりキャラクターデザインが決定され、「つん」が誕生しました。

川内駅前「駅チカ 薩摩川内」や東京・戸越銀座にある薩摩川内アンテナショップ「薩摩國」で各種つんグッズを販売しています。また、「つん」は「ゆるきゃらグランプリ2018」にもエントリーしており、市では薩摩川内からのナンバーワンゆるキャラの誕生を目指して応援を呼びかけています。地域の今後の盛り上がりを楽しみます。（白桃）



「つん」は各種イベント会場に引っ張りだこ

SAIGO 西郷 つん TSUN



つんの生まれ故郷・東郷町にある藤川天神に咲く「臥竜榊（がりゅうばい）」と呼ばれる榊の木のお花を耳元に♪

薩摩川内市の三大祭りのひとつ「川内大綱引」をイメージした綱の首輪♪

薩摩犬の特徴、耳はピンとし、左巻きにくるっとした尻尾！



薩摩川内観光物産キャラクター「つん」

西郷どんと得意な狩りへ♪



名前：西郷 つん
性別：♀
出身：鹿児島県薩摩川内市東郷町
性格：主人思いで曲がったことが大嫌い。
流行には敏感！



物産展で薩摩川内市の特産品の売り込みに励む「つん」



9月で開店1周年を迎えた薩摩川内アンテナショップ「薩摩國」戸越銀座店

北海道富良野市

DATA 問 富らの観光協会
☎ 0167-23-3388
URL <http://www.furano-omucurry.com/index.html>

富良野オムカレー

まちの若手が開発した新商品

『富良野オムカレー』は、国民食であるカレーとオムライスを組み合わせた新カテゴリーのご当地グルメです。使用のお米はもちろん、卵や野菜も富良野産にこだわっています。さらに、富良野産や北海道産の食材にこだわった一品と『ふらの牛乳』がセットになって提供されるなど、提供スタイルにもこだわっています。

『富良野オムカレー』は、まちの有志7名が地域の多様な農畜産物を使って作ることができる「カレー」に着眼して、町おこしへの取り組みをスタートさせたことをきっかけに、誕生しました。地元食材をふんだんに使った『富良野オムカレー』は、地域の子供たちの食育に活かされているだけでなく、観光食にもなっており、地域産業の中核となっている富良野農業の魅力を多くの人に知ってもらおう契機になっています。現在は、市内の9店舗にて味わうことができますので、富良野にお越しの際はぜひご賞味ください！



こだわりの地元食材をふんだんに使った富良野オムカレー



「富良野オムカレーマップ2018」でお店をチェック！



イボ立ちの良さが特徴の乾燥ナマコ



キットブルーは、神恵内村、岩内町、泊村の3つのまちから「売れる」を作る地域商社です

北海道神恵内村・岩内町・泊村

北海道産高級乾燥ナマコ

DATA 問 株式会社キットブルー
☎ 0135-76-5555
URL <http://www.kitblue.jp/>

イボ立ちの良さが際立つ

かつてはニシン漁で栄華を極め、海岸には鱧御殿が立ち並んだ3町村。しかし、近年では漁獲量の減少に悩まされてきました。そんななか、漁業者の所得向上や後継者問題の解決を目的として設立したのが、地域商社である『株式会社キットブルー』です。同社は、地域の漁協や水産業者と連携し、特産のウニとナマコによる商品開発や販路拡大、情報発信などに取り組んでいます。

同社がこの度開発したのが『北海道産高級乾燥ナマコ』です。ナマコはイボ立ちが良く、古くから中国などで超高級乾物として大いに重宝されてきました。ナマコは潜水でひとつひとつ丁寧に採取されるため、品質、量ともに安定しています。採れたナマコはすぐに加工場に運ばれ、手作業で丁寧に処理され、ナマコ本来の味や成分を引き出す古来の製法で製品化されます。イボ立ちの良さだけでなく、味、成分などでも高い評価を得ています。北海道産ナマコの中でも最高級品、まさに自慢の逸品です。

宮城県女川町

DATA 問 女川水産業体験館
あがいんステーション
☎ 0225-98-7839
URL <http://www.onagawa.co.jp/>

あがいんおながわブランド認定商品

おながわ自慢の海の幸

女川といえば水産業のまち。とくに、品質の良いものはどこよりも高値で取引する『目利きの町』として水産業界では一目置かれています。この女川町内の目利き達により選ばれた自慢の素材が『あがいんおながわ』ブランド認定商品で味わうことができます！

ブランド名の「あがいん」は、英語の「AGAIN(再び)」と女川弁の「あがいん(食べてください)」を掛け合わせたものです。女川町で水揚げされた原材料を使用、あるいは女川町内で製造された商品であることがブランドエントリーの基準です。さらに味、パッケージ、価格のバランスを「女川ブランド認証委員会」で採点し、一定基準をクリアした商品だけが『あがいんおながわ』ブランドに認定されるのです。

『絶対に食べてほしい!』と私達が自信を持って言える商品が『あがいん おながわ』ブランド商品です。おながわ自慢の海の幸をあがいん!



あがいん女川認定商品
(※写真は一部の商品のみとなります)



新潟県上越市

どぶろくスイーツ

DATA

問 牧商工会
☎ 025-533-5070
🌐 <http://ec.shokokai.or.jp/cmsdb/cm06010/index/?ken=15&block=54>

どぶろくがオシャレに生まれ変わった

「どぶろく」は、日本酒の原点ともいえ、お米本来の甘さや少し酸味のある爽やかさ、香り高くみずみずしい素朴な味わいを堪能できる、日本古来より親しまれてきた濁酒です。上越市の山間に位置する牧区では、棚田の米で造ったどぶろくが特産品となっています。これを使って開発したのが『どぶろくスイーツ』です。

行政構造改革でどぶろくの特産に指定された牧区の商工会は、「男性の飲み物」というイメージのあるどぶろくを、女性をはじめ広い世代に親しんでもらおうと、チーズケーキやチョコレートなど種類のスイーツに商品化しました。口に入れると、すっきりとした甘さの中に、どぶろくの芳醇な香りが漂います。洋菓子にどぶろくが使われることは珍しく、試行錯誤を重ねて完成した賜物です！ お子様や、お酒が苦手な方もどぶろくの雰囲気を感じることができる仕上がりとされています。お洒落なパッケージで、お土産にもぴったりです！



開発された『どぶろくスイーツ』

福井県美浜町

若狭美浜寒ぶり・ひるが響

DATA

問 みはまブランド開拓課
☎ 0770-32-6714
🌐 <http://wakasa-mihama.jp/hirugahibiki/>

「響締め」が味の決め手

朝廷に海産物を献上し、御食国と呼ばれた若狭湾沿岸に位置する美浜町。同町は新たなブランド『若狭美浜寒ぶり・ひるが響』を開発し、商標登録を行いブランド化を展開しています。

ブランド基準は次の3点です。①11月下旬～1月に同町日向で水揚げ、②「活け越し」「血抜き」「神経締め」の下処理（『響締め』※商標登録 出願中）、③重さ8kg以上で魚体が優れている。

特に、『響締め』が『若狭美浜寒ぶり・ひるが響』の味の決め手となっています。『響締め』は、4・5日間水槽で泳がせストレスを取りながら、胃の中を空にし身に移動する臭いを防ぎ（「活け越し」）、エラや尾から丁寧に血抜きして身の透明感を上げ生臭さを防ぎ（「血抜き」）、神経にワイヤを刺すことで死後硬直を遅らせて鮮度を保ちます（「神経締め」）。

豪快なしゃぶしゃぶ、脂がとろける炙り刺し、ぶり大根など、『若狭美浜寒ぶり・ひるが響』の楽しみ方は様々です。冬の味覚を、ぜひお楽しみください。



刺身でも、徹底した「血抜き」で生臭さは無い



大根の辛味がぶり本来の旨みを引き立てる



「若狭美浜寒ぶり・ひるが響」ブランドロゴ

鹿児島県薩摩川内市

ごろごろアロエ酢飲むゼリー

DATA

問 ヒラミネファーム
☎ 09969-3-2346



『ごろごろアロエ酢飲むゼリー』

甌島のスーパーフードをお手軽に

『ごろごろアロエ酢飲むゼリー』は、リンゴ酢をベースに、食感が楽しめるアロエベラの葉肉と、キダチアロエのエキスを凝縮させた飲むゼリーです。

東シナ海に浮かぶ甌島で、農薬や化学肥料を一切使用せず栽培したアロエを、素材にこだわって加工し商品化しました。離島という立地で、かつて医療が十分に受けられなかった時代、「医者いらず」とも言われるアロエは、お腹が痛いときや火傷をしたときなど様々な場面で活用され、島民の日々の健康を守ってきました。島民に慣れ親しまれてきた島アロエを皆さん

に楽しんでいただきたいという願いから、『ヒラミネファーム』の女性達と地域おこし協力隊の隊員とが一緒になって商品開発に取り組みました。アロエは胃腸を健やかに保つ、美肌、抗菌などの作用が期待でき、手軽に飲めるゼリータイプなので、朝食の美容フードとして特におすすめです。「スツと一息 アロエでリセット」しませんか。



『ヒラミネファーム』の畑では島アロエが元気に育っています

福島県富岡町

DATA

【開催日】11月10日(土)・11日(日)
 【開催場所】富岡町立富岡第一小学校 校庭
 問 富岡町 産業振興課 商工係
 ☎ 0240-22-2111

第90回「富岡えびす講市」

富岡町の晩秋の風物詩

富岡町の秋の風物詩「えびす講市」は、商売繁盛の神様として知られる事代主神社(通称・えびす神社)の例祭に合わせて、大正12年から富岡中央商店街通りで毎年開催されてきた秋市です。かつては約160店の露店が立ち並び、毎年約3万人が訪れていました。東日本大震災と原発事故の影響で7年間中断しましたが、昨年、開催場所を変更し復活開催されました。

今年も11月10日・11日の2日間で開催され、飲食や物販の出店、大道芸人のパフォーマンス、恒例のえびす餅投げ・抽選会の他、福島県主催のイベント「ふるさとの祭り」が同時開催され、町内外の伝統芸能(太鼓、踊りなど)がメインステージで披露されます。その他、小中学生の作品展や参加型イベントなど、多彩な催物が行われますので、ぜひ会場にお越しいただき「えびす講市」をお楽しみください。



「恒例」のえびす餅投げ抽選会の様子。抽選番号付きの紅白餅を拾って豪華景品が当たります

石川県志賀町

西能登里浜イルミネーション ときめき桜貝廊

～大切な人との思い出の里浜時間を～

石川県能登半島の「西能登」と呼ばれる志賀町の増穂浦海岸にある全長約460mの「世界一長いベンチ」は、ゆったりとした時間を過ごすことができる、全国屈指の夕日スポットです。

「ときめき桜貝廊」は、この「世界一長いベンチ」周辺をオリジナルLED照明「ペットボタル」約2万個の灯りが彩るイルミネーションイベントで、夕日が暮れると「ペットボタル」の揺らめく灯りが、幻想的な世界へと誘います。

日本小貝三名所のひとつでもある増穂浦海岸に打ち寄せられる『さくら貝』は、「幸せを呼ぶ貝」として地元で親しまれており、「ペットボタル」は、この『さくら貝』のピンクと、里浜をイメージした里浜ブルーに輝きます。

全国屈指の夕日スポットでほんの少しだけ日常を離れ、幻想のときめきを感じてみませんか。

DATA

【開催期間】8月11日(土)～11月30日(金)
 【開催場所】世界一長いベンチ／道の駅とぎ海街道周辺
 問 志賀町 商工観光課
 ☎ 0767-32-9341
 URL <http://www.town.shika.lg.jp/kankou/kankou/tokimeki.html>



『さくらピンク』と『里浜ブルー』が幻想的な世界を生み出します

たくさんのボランティアの方が設置にご協力くださいました



静岡県御前崎市

御前崎晚餐 ～陽のめぐみ～

御前崎の旬の味をお得にたっぷり味わえる

『御前崎晚餐』は、今年の7月からスタートした御前崎市へご宿泊の方限定の特別プランです。御前崎の自慢の食材を、ゆったり宿泊しながら堪能していただきたいという想いから、この取り組みが始まりました。

御前崎産伊勢エビなど季節の魚介、『遠州夢咲牛』など地元自慢の畜産物、『御前崎つゆひかり』を使用した御茶海鮮、カツオを使用しウミガメをイメージした揚げ物、季節の野菜料理を基本メニュー5品として、さらに各宿ごとに腕を振った料理が加わり、御前崎の魅力を味わえる料理がずらりと並びます。

静岡県最南端の岬の街 御前崎市は、日照時間日本一を誇っています。太陽の恵みがたっぷり詰まった旬の食材をお楽しみください! 『御前崎晚餐』は御前崎市7つのお宿でお楽しみいただけます。2名様から申込可能で、宿泊の前日から起算して3日前までの予約制となります。ぜひお越しください!

DATA

【提供場所】市内7箇所の宿(八光、聖火、はまえんどう、浜岡カントリー&ホテル、八潮、ペンションクワッサン、御前崎ユースホステル)
 問 御前崎市観光協会
 ☎ 0548-63-2001
 URL <https://www.city.omaezaki.shizuoka.jp/soshiki/shokokanko/gourmet/omaezakibansan.html>

自慢の食材のひとつ、御前崎産伊勢エビ



日照時間日本一の御前崎市には、陽の光をたっぷり浴びた自慢の食材が勢ぞろい



滋賀県高島市
ステージクス
STAGEX高島

問 (公社)びわ湖高島観光協会
☎ 0740-33-7101
🌐 <https://takashima-kanko.jp/>

琵琶湖畔にグランピング施設オープン

琵琶湖の北西に位置する高島市は、滋賀県で最も自然の豊かな地域のひとつです。ここには、アウトドアを楽しむのに最適なフィールドが広がっています。琵琶湖や高原エリアでのキャンプをはじめ、高島トレイル(トレッキング)、カヤック・サップ、スキー・スノーシューなどのアウトドアスポーツだけでなく、日本百選に選ばれた景勝地を散策したり琵琶湖畔でお弁当を食べたり、それぞれに楽しめるちょうど良い環境が整っています。

今年の夏には、琵琶湖畔に新しくグランピング施設『STAGEX高島』がオープンしました。グランピングキャビン(10棟)・テント(6サイト)での宿泊や、客席数400席を誇る広大なエリアでのBBQ、デイキャンプ等を楽しむことができるレジャー施設です。サイクルカフェや日帰り入浴施設も併設、近年人気沸騰の琵琶湖一周サイクリング“びわイチ”の中間ポイントとしてもご利用いただけます。多くの方に“アウトドアを高島で”楽しんでいただきたいと思います。



グランピング施設『STAGEX高島』



グランピングテント内装例

愛媛県伊方町
フォト婚

DATA 【開催期間】通年 【開催場所】佐田岬灯台
問 佐田岬ツーリズム協会
☎ 0894-54-2225
🌐 <http://www.sadamisaki.com/>

佐田岬灯台点灯100周年を機に

日本で最も細長い半島である佐田岬半島。その先端に位置する佐田岬灯台は、大正7年(1918年)4月1日にその明かりが灯され、今年が初点灯から100年目を迎える節目の年です。今年が灯台点灯100周年に合わせて、さまざまなプロモーションを開催しています。

実は、佐田岬灯台は、日本ロマンチスト協会と日本財団が全国各地の灯台をロマンスの聖地として再価値化する「恋する灯台プロジェクト」で「恋する灯台」にも認定されています。そんな恋の名所でもある佐田岬灯台は、ロケーションの美しい場所で最近注目の結婚式の代わりに記念写真を撮影する「フォト婚」や結婚式前の「前撮り」スポットにもピッタリ! 青い海、白い灯台をバックに、日本一細長い佐田岬半島の最先端で、愛を誓ってみませんか? もちろん、ウェディングでなくとも、その抜群のロケーションを楽しみに、ぜひ佐田岬灯台に遊びに来てください。



点灯100周年モニュメント「永久(とわ)の灯(あかり)」と共に



白亜の灯台と花嫁

沖縄県中城村
なかぐすくじょうし
中城城跡プロジェクト

DATA 【開催日】11月10日(土)・11日(日) 【開催場所】世界遺産中城城跡(中城村)
問 世界遺産中城城跡プロジェクトマッピング実行委員会(中城村役場 企業立地・観光推進課内)
☎ 098-895-2131(内線301)
🌐 <https://nakagusuku-pm.jimdo.com/>

世界遺産と共に英雄・護佐丸が蘇る

中城村は沖縄本島の中部の東海岸に位置し、人口が全国で3番目に多く、人口密度が全国で2番目に高い村です。平成12年に世界遺産に登録された中城城跡では、石積み技術の発展を見ることができ、その城主の1人でもあった護佐丸が「築城の天才」といわれる所以がうかがい知ることができます。裏門の重厚なアーチ門は美しさが際立っており、護佐丸の築城技術の高さを見ることができます。中城城跡や護佐丸の認知度を上げる試みとして、平成25年からこのイベントがスタートしました。沖縄県内最大級のプロジェクトマッピングとして、中城城跡「三の郭」の外壁をスクリーンに、暗闇の中で鮮やかな色彩と光と音楽が融合する迫力あるイベントとなっています。今年「護佐丸のレガシーを受け継ぐ」をテーマに、プロジェクトマッピングの映像と中城村内の伝統芸能団体による、演舞とのコラボレーションをメインプログラムとして上演いたします。イベントの入場は無料です。



プロジェクトマッピングと伝統芸能(獅子舞)とのコラボレーション



イベント会場の世界遺産中城城跡